

## やまと芸術文化ホールの運営評価の状況について

## 1. 指定管理者の運営評価に係る大和市文化芸術振興審議会の意見

## (1) やまと芸術文化ホール

## ①基本方針

- ・シリウスの完成を機に、あらゆる文化活動が芸術文化ホールに集中しつつあるが、一方で、地域で活動を続け、地域の文化として定着しているものも多く存在する。芸術文化ホールでの事業だけではなく、地域の文化活動に目を向け、それらと連携した事業を実施することで、市全体の文化活動を包括的に支援、発展させるようにする。
- ・芸術文化ホールでの活動により、市民の中から優れた人物、団体が育まれるような施設であって欲しい。

## ②サービス提供に関する取り組み

- ・芸術文化ホールから発信される文化情報には、市内のイベントや施設などを広く紹介する。例えば、広報の作成にあたり、行政や地域の文化団体などのあらゆる主体の意見を取り入れられれば、市全体のPRに貢献することができる。

## ③事業計画

- ・芸術文化ホールの持つ音響、舞台性能を活かした「大和らしいホール」を積極的に打ち出し、市民のニーズに即した質の高い文化芸術事業を実施することで、ホールのブランドイメージの向上や市のPRにつなげたい。
- ・人材育成・普及事業として、子ども向けのワークショップや指導者派遣などを通じて、音楽や演劇、舞踊などの表現活動へさらに注力し、文化芸術の継承、担い手として活躍できる環境を整える。
- ・市立の小・中学校で実施している芸術鑑賞事業と連携し、指定管理者が持つノウハウを活用することで、より質の高い事業に発展させ、子どもたちが本物の文化芸術に親しめるようにする。

## ④利用規則

- ・付帯設備などが当日変更になることや、出演者が事務を行っていることもあるので、ホール費用の支払いを当日ではなく、3日程度の猶予が欲しい。

## ⑤人員体制

- ・ホールと事務所の距離が遠く、また、電話をしても担当者につながらないことが多い。また、対応するスタッフによって温度差を感じる。

## (2) 共通事項

### ①連携事業の計画

- ・初年度はシリウス内の各施設が各分野において力を発揮することに重点を置いていたように感じるが、今後はそれぞれの施設が連携することによって、本来の目的である文化創造拠点の在り方（各施設の融合による成果）を新たに検討することが必要になる。

### ②情報発信に関する取り組み

- ・シリウスには市内外から多くの人を訪れていることから、利用者が施設周辺や大和市全体に目を向けられるような仕掛けが必要になる。「文化創造拠点」の名のとおり、市内のあらゆる情報を発信するセンター機能としての役割に期待したい。
- ・エントランス部分やサイン（案内表示）の配置の工夫などにより、利用者にとって必要な情報が容易に得られるようにすべき。

### ③利用者の誘致・拡大に関する取り組み

- ・広報の手法について、民間の力を活用した取り組みがあっても良い。例えば、大和市の地理的特性として鉄道駅が多くあることが挙げられる。これを活用し、鉄道会社に働きかけ、路線全駅にポスター掲示等を依頼するなどの連携も考えられる。

## 2. 大和市文化創造拠点運営審議会でのやまと芸術文化ホールに関する意見

### ①各館の連携について

- ・施設を貫くようなプログラムと、それに市民がつながっていくような重層的な関わりづくりが必要である。そのために、これまで学習センターなどで地域の方とともに開催していたイベントを、シリウスでも定着させるような取り組みが重要である。

### ②チケットの再販

- ・システム上で満員となっても、実際にはキャンセルがあり、空席が目立つ公演が見られる。急なキャンセルが発生した場合に、当日でもチケットの再販ができる仕組みをつくれぬか。当日空いていれば見たいという方もいると思うので、そういう方を巻き込むことで、入場者の増加につながる。

### ③各案内について

- ・大和市の文化の拠点として、大和の文化を全体的に案内できるようなものがあれば良い。千代田区などでは図書館にコンシェルジュを配置し、地域の商店街や文化を案内している。
- ・シリウス内の総合案内するものがあつた方が良い。